

事務事業評価における総括

| 部 局 名 | 教育総務部 | 記入責任者 | 岸 宏司 |
|--|-------|-------|------|
| 評価について（現状と課題） | | | |
| <p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>教育総務部の業務計画に位置付けた事業では、32 事業全てにおいて指標を達成し、S 評価としていることから、順調に進捗しています。しかし、業務計画以外の事業において、C 評価としたものが 2 事業、実績なしと評価したものが 7 事業あることから、政策・施策目標の達成に向けて、再度事業の見直しを行う必要があります。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>C 評価とした中学校グラウンド（一校）拡張事業については、現時点では、関係課等との協議を今後も進めるものとします。同じく C 評価とした省エネルギー法に基づくエネルギー管理については、気候による冷暖房の使用機会の増加が要因となっていることから、エネルギーの使用に係る原単位年平均 1%の削減目標を達成できませんでした。</p> <p>また、実績なしとした事業のうち、小中学校の大型備品等の整備については、児童・生徒用の老朽化した机椅子の更新が、第 3 次実施計画上 B 採択となっており、予算化できなかったことが要因ですが、児童・生徒の増員に対応する整備については、別の事業の中で進め、児童・生徒の学校生活の基礎的な教育環境の整備は図ることができました。</p> <p>小中学校大規模改修整備事業についても、同様に予算化できなかったことが要因ですが、学校施設の経年に伴う老朽化は日々進んでおり、不具合箇所が多くなっていることから、小中学校施設整備事業や小中学校の補修（小規模修繕）のなかで、安全を最優先し、補修や修繕工事を実施しました。</p> <p>小中学校施設建築基準法第 12 条の法定点検については、3 年に 1 度の実施になるため、今回は平成 30 年度に実施する予定です。学校給食調理場エレベーター改修に係る事務は、実施計画に位置付けられ実施予定校の選定等が終了していましたが、予算措置ができなかったため実績がないものです。</p> | | | |
| 今後の方向性 | | | |
| <p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>順調に進捗している事業については、引き続き継続して進めていきます。</p> <p>教育施設課においては、業務計画においても優先順を上位としている、小中学校施設整備事業（空調設備機器リース）、及び教育施設再整備基本計画の策定に特に重点を置き、事業を進めていきます。</p> <p>学務課においては、今宿小学校における単独調理場建設を着実に進め、すべての小学校に給食調理場を整備することで小学校給食を充実させます。また、学齢簿及び就学援助事務の円滑な処理と学校給食費の公会計化を視野に入れ、新たなシステム導入に向け検討を進めます。</p> <p>各小中学校における教職員の適正な配置を通して、児童・生徒の教育環境の充実と向上を図ります。</p> | | | |